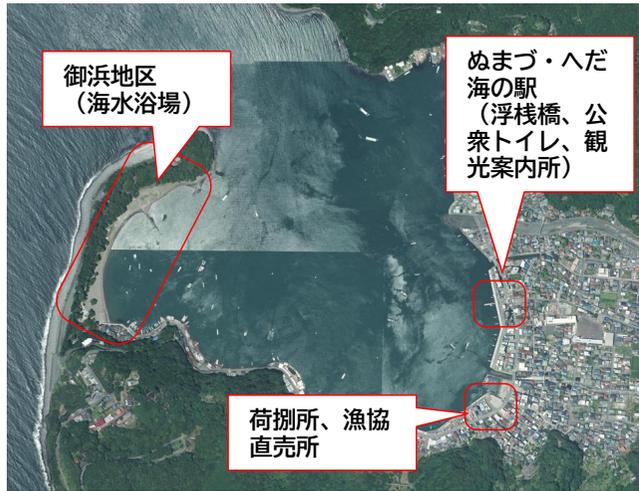
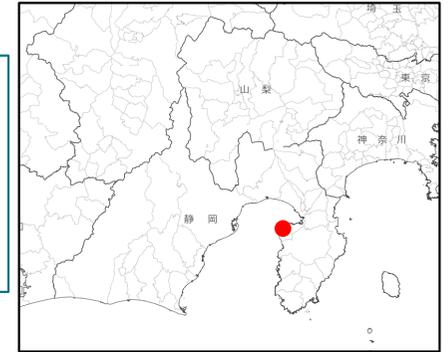


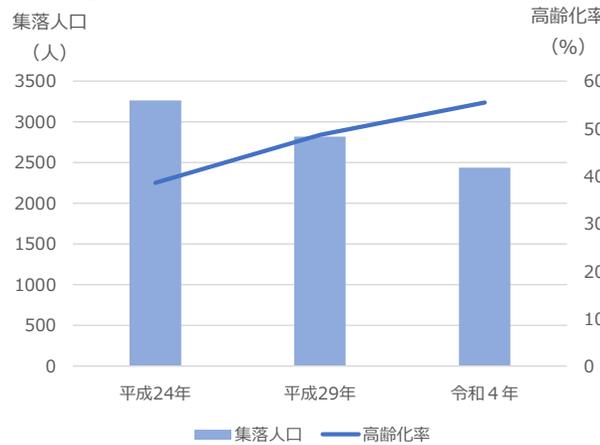
海業の事業計画骨子（案）【静岡県沼津市 戸田漁港】

現状と課題

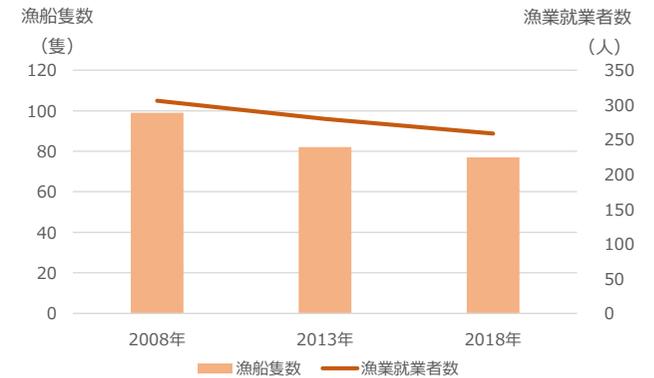
- 伊豆半島西伊豆に位置し、駿河湾と湾内を嘴の岬が特徴的な第二種漁港で古くから漁業の街として栄え、良質な魚介類から観光・宿泊業が栄え。最盛期の戸田地区の人口は5,000人を超えたが、人口減少や高齢化の影響などにより2,500人を下回る状況にある。
- 三方が山に囲まれていることから、海路による新たな来訪を期待する住民も多く、プレジャーボートやヨット、定期船誘致に向けた体制の構築が望まれる。



漁港背後集落の人口と高齢化率



漁港背後集落の漁船隻数と漁業就業者数



検討体制

戸田漁港を核とした地域の振興について考える懇談会

- [メンバー]
- ・戸田観光協会
 - ・沼津市観光戦略課、水産海浜課
 - ・静岡県水産振興課、港湾企画課、沼津土木事務所、水産・海洋技術研究所
 - ・戸田漁業協同組合
 - ・沼津市商工会戸田支所

地域としての意見提示

協議内容共有

戸田地域振興協議会

- [メンバー]
- ・戸田地区連合自治会
 - ・戸田市議
 - ・戸田漁業協同組合
 - ・富士伊豆農業協同組合
 - ・道の駅くるら戸田
 - ・戸田観光協会
 - ・沼津市商工会

海業の事業計画骨子（案）【静岡県沼津市 戸田漁港】

3. 海業の方針

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

- 古くから漁港として漁業利用に限った活用がされてきた中で、海の駅としての認定がなされた。
- 地域の観光事業への波及を期待したPB、マリンレジャーでの漁港活用とそのためルール設定を図ること
で、漁業を核に、地域の観光産業の持続、地域コミュニティの維持に努める。

【取組】

- ①海の駅認定による「マリンチック街道」の登録と活用（PB受入の実証実験を経て、海の駅認定済）
- ②漁港におけるプレジャーボートやヨットの受入れ、大型クルーズ船招致（浮棧橋を活用したPB受入れの事業化）
- ③海の駅を活用したヨットレース等の開催による地域振興（既存のヨットレースの拡充や新規企画等を検討）
- ④漁協直売所、御浜地区海水浴場を活用した新規事業

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①海の駅認定による「マリンチック街道」の登録と活用（戸田観光協会他）

- ・海の駅認定に加えて、発信力の強化

【期待される効果】

- 海からの来訪者数の増加

②漁港におけるプレジャーボートやヨット、大型クルーズ船招致（戸田観光協会他）

- ・浮棧橋を活用したPB受入れの事業化

【期待される効果】

- 海からの来訪者数の増加
- 地産の水産物消費拡大
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

③海の駅を活用したヨットレース等の開催による地域振興（戸田観光協会他）

- ・既存のヨットレースの拡充や新規企画等検討

【期待される効果】

- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

⑤他、漁港エリアでの事業検討

- ・戸田地区としての新たな事業展開を検討

【期待される効果】

- 地域への来訪者増加
- 地産の水産物消費拡大
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

